



「企業におけるテラーメイド健康管理の実現を目指した従業員の健康状態に関する実態調査研究」の概要

1. 意義と目的

現在、トヨタ自動車株式会社では、名古屋大学と連携して上記研究を行っています。近年、企業における従業員の健康診断及び健康管理の重要性はさらに高まってきています。国民の死因や要介護状態となる要因の上位を占め、保健指導等により発症リスクの低減が期待される虚血性心疾患、脳卒中等の発症予防を念頭におき、その重要な危険因子であるメタボリックシンドローム(Mets: 糖尿病、高血圧症、高脂血症、内臓脂肪型肥満)や慢性腎臓病(CKD)の青壮年期からの対応の充実・強化を行うべきと考えられます。しかし現在多くの日本企業で行われている健診が、本当に健康増進に寄与しているのか、生涯にわたる健康増進を実現するにはどうすればよいかという点について、評価検討する必要があります。そのために、保健指導を必要とする者(特に、予備群)を効率よくスクリーニングし、対象者の年齢や個人のもつリスクに応じて、内容(既往歴やライフスタイルを考慮)や間隔など柔軟に個別化された(テラーメイド化)確実な保健指導を行うことが求められます。

今回の研究では、トヨタ自動車株式会社の従業員健診で得られる検査結果や生活習慣を広く収集し、虚血性心疾患、脳卒中等の発症予防のため、それら疾患の主要なリスクファクターであるMets及びCKDの発症要因を特定し、今後生活習慣改善を目的とした保健指導をすべき対象群や指導において重視する点を明らかにすることを目的としています。

2. 研究機関

本研究が行われる研究機関：名古屋大学[予防早期医療創成センター、工学系研究科バイオテクノロジー講座、医学部保健学科医療技術学専攻病態解析学講座、生命農学研究科応用分子生命科学専攻応用生命化学栄養化学、医学系研究科社会生命科学講座、先端医療・臨床研究支援センター臨床研究支援部門、医学系研究科態内科学講座腎臓内科]

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科分子総合医学専攻病態内科学 准教授 丸山彰一

3. 研究期間と予定症例数(対象者)

研究期間は倫理委員会承認後5年間です(ただし、論文作成やその為の統計解析はその後も続くことがあります)。

本研究は観察研究のため、2001年~2012年にトヨタ自動車株式会社の社員で健康診断を受診された従業員全員を対象に行います。そのため予定症例数の設定はありません。

4. 調査方法

本研究では、個人情報に關与するデータは一切収集せず健診の項目やミールチェックデータなど、日常的にトヨタ自動車株式会社の健康管理のため収集されデータのみを利用いたします。この研究のために、新たに血液検査や尿検査等の検査を行うことは一切ありません。個人が特定できないようにして集計されたデータは、学会発表や学術雑誌及びデータベース上で公に発表される事があります。個人情報が公表される事はありません。

5. 研究に参加することによって予想される利益と不利益

本研究に参加することにより予想される利益や不利益はありません。

6. 個人情報に関する規定

匿名化して収集されたデータは、個人情報が外部に漏れることは絶対にないよう十分注意して管理致します。

7. 研究参加への拒否

本研究への参加を承諾されない方、あるいはご質問がございましたら下記問い合わせ先までご連絡ください。ただし、研究結果として公表された後はデータの削除ができないことがあります。

8. 備考

本研究はトヨタ自動車株式会社からの研究費により行われます。この研究に使用されるデータは健診項目などであり、データ収集・解析に関して特定の企業に有利な結果が恣意的に誘導されない研究実施体制が整備されています。また、本研究の分担者として、名古屋大学CKD先進診療システム学講座の教員が参画していますが、本研究を目的として、特別な資金・物品等の提供は受けておらず、当講座とトヨタ自動車株式会社との間には利益供与の関係がないため、当該臨床研究の結果に影響を及ぼすことはありません。

○問い合わせ先 名古屋大学医学部腎臓内科 TEL:052-744-2192 FAX:052-744-2209
○苦情の受付先 名古屋大学医学部総務課:(052-744-1901)